



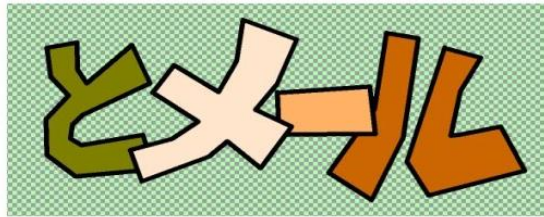
75歳医療費窓口負担2倍化ストップ!!活動推進コース

発行団体

- 全日本年金者組合中央本部
- 中央社会保障推進協議会
- 全国保険医団体連合会事務局
- 日本高齢期運動連絡会

東京都中野区中央5-48-5 シャン  
ポール中野504  
☎ 03-3384-6654

2022年1月20日発行 No2



## 75歳二倍化中止を求める自治体決議

### 和歌山県伊都郡九度山町で採決 かつらぎ町で継続審議

和歌山県社保協の橋本・伊都社保協は、75歳二倍化中止を求める自治体決議について要請し、伊都郡九度山町で採決、同かつらぎ町で継続審議となりました。

かつらぎ町は、1月25日に継続審議する予定となり、請願にあたり地域社保協は、(1)75歳二倍化で若者の負担が30円減の根拠について、(2)高齢者の生活、受診抑制の実態、(3)先進国の高齢者医療費無料化等の問題について、資料を提出。

10月実施の政令が出ている中での決議の意義は大きいと、採択へ奮闘しています。

### 75歳医療費窓口負担二割化中止、後期高齢者医療保険料値上げするな

### 後期高齢者医療広域連合への要請、懇談、議会傍聴を

【北海道】広域連合「高齢者の生活が大変なのは理解。保険料を下げるのは難しい」

北海道社保協は、北海道後期高齢者医療広域連合に、①保険料の軽減、②窓口負担の軽減、③新型コロナ対策の拡充、④健康増進活動の強化などについて、要請。懇談を行いました。

「保険料軽減」の要請に、広域連合の代表は、「高齢者の生活が大変になっているのは理解しています。保険料を下げるのは難しい状況ですが、現在、保険料の値上げを抑えるため検討中です。保険料の算定に影響する診療報酬は決定しましたが、後期高齢者保険料率がまだ確定しておらず、この間の決算見通しも作成中。剰余金や財政安定化基金の崩しもどのくらいできるか作業しており、2月18日の広域連合議会で決定します」と返答がありました。

【東京】広域連合「75歳以上窓口負担二割化反対の声は聞いたことがない」「保険料値上げは我慢してもらわないといけないと思う」

東京高齢期運動連絡会が東京広域連合代表と懇談。高齢者の生活実態、後期高齢者医療の保険料、一部負担の事例について、保険医協会アンケートや個人の年金、医旅費負担等のきびしい実状を示しながら説明、「保険料引き下げ」等を要請しました。

それに対し、副連合長は「75歳以上窓口負担二割化反対の声は1回も聞いたことがない」「広域連合は皆さんの意見を聞く場ではない」「都民の意見は区から、指示は国、都からおりてくる」「自分たちには裁量権はなく、要請事項を聞く立場にはない」「保険料負担は我慢してもらわないといけないと思う」など、理不尽な対応に終始しました。

参加者から「住民には広域連合は裁量権がないといい、都や国には唯々諾々としている。公務員として地域住民、保険料を払っている被保険者の声を聞くのは当然の義務ではないか」「声を1回も聞いてないなど、ありえないし信じられない」「高齢者は窓口負担2倍化についてほとんど知らされていないのが実状だ。情報提供もされていないままでいいのか？」などと追求しました。

東京高齢期運動連絡会の代表は、「無責任な上長のもとで、公務員が物言えぬ状態になるのがよく分かった。意見や要望がなければ、あの主張を通そうと思っている神経にあきれる。国民、地域住民の怒りの声、要求を伝え、届けることが大切であるか、改めて分かった」と、今後の運動に決意を表明しています。

#### 【京都】2月10日に京都府後期高齢者医療広域連合議会開催

京都社保協は、京都府後期高齢者医療広域連合議会に75歳医療費窓口負担2割化反対の請願を提出する予定です。（請願への賛同書なども検討）

議会では、75歳医療費窓口負担2割化問題や今後の後期高齢者医療の問題も審議されることになっており、議会より傍聴についての案内はされていない状況ですが、京都社保協は傍聴参加の予定を呼び掛けています。

議会が、たくさんの傍聴者で真剣な審議をするよう議会傍聴を各地で呼びかけましょう。

※写真は、長野県高齢期運動連絡会の宣伝行動

各地域の宣伝行動、学習会等の写真をぜひお寄せください。

